

活動ノート



12月16日(日)

納会

12:00~15:00



◆参加者: 富永、新牛込(寛)(清)、樋口(利)(友)、吉田、林、榊、川上、迫、菊池(潤)(一)(泰)、川内、岩尾、篠原 計16名

内容: 前日は雨でしたが、みんなの日頃の行いが良かったせいか天気は良くなりました。午前中がうん・え〜会で午後からキャンプ場で火を囲み豚汁や焼うどんを食べながらの納会を行いました。朝から納会班はキャンプ場で間伐材の薪で火を熾し、女性陣が料理の準備をし、豚汁をこしらえて皆を迎えました。昼過ぎ、みんなが集まったところで納会を始めました。美味しい豚汁、今年も立派に育った朝採りの森会シイタケ、焼き芋、焼うどん、焼きにんにく等・・・美味しくいただき無



事今年最後の活動を終えました。反省としては、前日の雨でカブ森に置いてある薪が使えなかった事、納会の予算を決めてなかったので材料の買い出しに困った等がありました。

【ふりかえりより】

・今日キャンプ場でバーベキューをして、やきうどんを食べました。ほかにもまきをくべたり、まきをとりにいきました。たのしかったです。(新牛込清)

・2012年最後のうんえー会も無事終了し、美味しい豚汁をいただきながらの楽しい納会でした。(林)

・午前中はうんえー会で話が多くて、時間がかかった。午後はおいしい料理を食べて、楽しかった。良かったです。(榊)

1月12日(土)

カブ森C地区除伐

10:00~15:00

◆参加者: 静間、中嶋、榊、鎌田、迫一、迫盛、榊、松雪、川上、富永、徳光、小川R 計12名

内容: 移動性高気圧のもと作業には絶好のコンディションでした。当初、間伐もする予定でしたが、伐採するからには利用もしたいので、来年度の菌打ち用にとっておくことにしました。その分東側の雑木伐採に傾注しました。作業は斜面班(中嶋)、北側班(松雪)、南側班(迫盛)に分かれて行いました。斜面班はクヌギにかかっているネムノキの北側幹、ハゼノキ2本を伐採。北側班はモッコク、アラカシ、シリブカガシなど



中径木を中心に伐採、次回の作業でクスノキ、アラカシなどの大径木を伐採する際に障害となるものを除去しました。南側班はヤブツバキ、ヒサカキの小木を中心に、スギなどの中木も伐採、併せて伐採木の集積場所を整備しました。伐採木の処理方法を切り刻んでヤードに入れる方式から、大雑把な処理で集積する方式に変えたことから、予想以上に伐採することができ、東側がかなり広々とした感じになりました。今後更に東側斜面に除伐を拡げていく予定です。園内道路沿いのネズミモチ萌芽枝も全て処理しました。事故や怪我はなかったものの、伐採の基本手順が必ずしも遵守されてなかったり、つい近接作業になってしまっていたりすることがあり、今後は作業に入る前に改めて手順確認をすると共に、リーダーが作業状況をしっかり把握するようにしようということになり



ました。特に今回のようにベテランばかりの場合要注意だと感じました。尚、伐採対象木、保存木についてしっかり徹底できていなかったのが反省点でした。振り返り時に岩尾さんから倉庫整備計画についての説明があって、意見交換をしました。

現在の棚と同じものをあと2台設置(但し2段でなく1段)すると共に、床部分の嵩上げを行うという方向で進めていくことになりました。

【ふりかえりより】

- ・久しぶりの森の作業、やっとノコギリが使えるようになりました。(富永)
- ・ツバキ他5本程の中径木を間伐。高木優勢の林らしい景観が出現した。(岩尾)
- ・新しい処理柵を作って、以前伐ったスギの葉が片付いて良かった。(迫盛)

1月26日(土)

クヌギ生長調査、カブ森B地区除伐

10:00~15:40



◆参加者：篠原、中嶋、阪下、松雪、榎、山川、林、川上、菊池、富永、中嶋、折居 計12名

内容：活動開始前から雪が降り、一時はどうなることかと思いましたが、なんとか人数もそろい、まずはミーティング。前回活動時に今後は作業前の手順確認を徹底することとしていましたので、

伐倒作業前に行う安全確認の徹底を呼び掛けるとともに、松雪さんからは伐木の手順(受け口や追い口の注意事項等)についての説明を行っていただきました。また、今回体験参加させていただいた私の友人の折居君の自己紹介を済ませた後、道具準備と体操を行いカブ森へ出発しました。作業は生長調査班(篠原)、川治い班(榎)、斜面班(松雪)に3名前後が分かれて行いました。生長調査班は、毎年調査しているA地区の調査区で行いました。東西南北4方向の樹冠幅と幹まわり(周囲長)の計測を、メジャーを使って行いました。生長や折れの影響を受けて、樹冠幅は、昨年と大きく変わっている木もありました。幹まわりはほとんどの木が昨年よりも大きくなっていました。普段見ている木の生長はよくわかりませんが、データになると生長しているのがよくわかります。(詳細はp5-6特集参照)。川治い班は直径10cm前後のヤブツバキ3本とアラカシ1本を事前に除伐し、直径18cmほどのアラカシを見事伐倒しました。斜面班はまず直径25cmほどのタブノキの大物を狙い通りに斜面下へ伐倒。その後直径15cmほどのアラカシ、ユズリハに挑みましたが、伐倒方向と逆に偏心しており若干手間取ったものの、ロープや滑車を使い伐倒に成功しました。まだ除伐対象木は残っていますが、今回の作業で川治い、斜面もかなり明るくなった印象です。午後からはバードウォッチングの講師を終えられた富永さんにも枝葉の処理など手伝っていただき、怪我もなく無事作業を終えることができました。なお、午後には前



回のC地区作業で中途半端になっていた材や枝葉の整理も少し行いました。今回の作業でも大量の材や枝葉が発生していますが、置き場は一杯一杯の状態で見栄えも決してよくはない印象です。伐った後の材処理の方法を今後のうんえー会等で検討していく必要があるかと思います。

【ふりかえりより】

- ・久しぶりの作業参加で楽しく過ごすことができました。(阪下)
- ・ついに子供に見放され、今日は一人での参加。午前中の雪も午後は止み、晴れ間も見え大物の木も切れ充実した一日でした。(菊池)
- ・伐倒方向と逆に偏心しているタブノキの伐倒に手間取ったがロープ等をうまく使って伐ることができ満足です。(松雪)
- ・初めて参加しました。楽しく作業できました。(折居)

2月10日(日)

ボランティア体験講座

10:00~15:00

◆参加者：静間、岩尾、鎌田、松雪、富永、菊池(潤、泰)、迫盛、榎、吉田、川上、体験者4名 計15名



内容:センター主催のボランティア体験講座。森会活動を一般の方に体験も交えて紹介する一日で今日のメニューはカブ森での除伐と間伐材を使つてのシイタケ菌打ちでした。参加者は二組 4名と寂しかったものの、J-COMの体験取材や「海の中道海浜公園・環境共生の森ボランティア」の人達の見学もあって賑やかになりました。会の紹介や作業時の注意などのオリエンテーションのあと、センターの前で軽くストレッチをして東屋へ。途中キャンプ場で午後の菌打ち担当班は分かれて、火熾し、ササ茶の準備などにかかりました。伐採班は三班に分かれ、体験班はC地区北側でヤブツバキなどを除伐しました。ノコギリは使ったことがあるものの立木を伐るのは初めてという男の子が伐り方を教えて貰いながら挑戦していました。J-COM 班は松雪さんの指導のもと直径25cm程のスギを伐採。伐倒予定方向に対して重心がズれていたためロープやクサビを使つての大掛かりな作業でしたが、無事予定方向に倒すことができ、番組出演者の若者も大興奮でした。参加者が少なくて手の空いていた5名はB地区でヤブツバキを伐りました。泰雅君は初めて自分だけで木を倒した記念すべき日になりました。昼前には案内人とのミーティングを終えた



「海の中道海浜公園・環境共生の森ボランティア」の人達が合流、伐採の様子を暫く見学して貰った後、一緒にキャンプ場に昼食に向かいました。まずはササ茶のおもてなし。その後イモやモチなどいろいろ焼きながら交流を深めました。午後は昨年末間伐したクヌギを使つてのシイタケ菌の駒打ち。富永さんの説明、迫さんからの作業上の注意などがあって作業開始。殆どが電動ドリル初体験で、怪我をしないように慎重に作業していました。30cm程の小さいものも用意して、参加者の方たちに持ち帰って貰いました。今回は初めてナメコにも挑戦。1本だけなのでどうなるか不安なところもありますが、うまくいけば来年秋あたりから収穫できるようです。

今日のボランティア体験講座の一般参加者は4名。うち1名は25年度からの参加を希望されていました！

【ふりかえりより】

・ふつうはできないシイタケのコマ打ち体験をさせていただいてとても楽しかったです。

2月17日(日)

備品管理

9:30~15:00

◆参加者: 岩尾、林、榊、川上、鎌田、柴戸、中嶋、静間、川内、迫 計10名

内容:作業を備品整備班と道具棚製作班に分けて、10時予定のオリエンテーションもそこそこに作業を開始しました。備品整備班は、レクチャールームに広げたブルーシートに倉庫の道具をすべて並べ、道具の点検・整備を行いました。剪定ばさみ、スコップ、腕章の紛失がわかりました。また、



一部破損の「かけや」と「背負いかご」の修理も行いました。点検結果をもとに、道具リストの改訂を行いました。一方、道具棚製作班は、購入した合板や角材で地下倉庫の中で、水をまき、埃を抑えながら午前中に棚の下段を製作しました。土が固かったので支柱を打ち込むのに苦労しました。さらに計算違いで支柱の打ち直しをするハプニングや現場の状況に合わせてたりしたので、設計図とは少し異なる製作物となりました。午後からは全員で棚の上段を小屋の外で作り、出来上がったところで午前中に作った台に据え付けました。慣れない木工作业でしたが、電動ドリルを使い、備品の整理や管理に有効なりっぱな道具棚が出来ました。完成した道具棚に全員で備品を並べて作業を終了しました。今後、倉庫入口からの通路が段差があるので、かさ上げし、さらに使いやすい倉庫にする予定です。

【ふりかえりより】

・岩尾さん、設計から、材料購入、総指揮おつかれさまでした。活動はこんな基礎的なことがあって成り立つのを感じます。(柴戸)

